



Formula NIPPON '12

モータースポーツのリーディングペーパー

購読のお申し込みは
0120-026-999
FAX 0120-026-993
http://www.chunichi.co.jp/chuspo/

1ヶ月 2,955円 1部売り 120円

東京中日スポーツ

本紙への広告掲載のお問合せは:
株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25
03-3237-0131 http://www.f-nippon.co.jp

SUPPORT RACES Result (Top10)

Po	No	Driver	Car	Time
1	4	太田 伸弥	BRIDE-ED-PETRONAS-FD2R	2'10.446
2	8	伊藤 博之	DRAWINGuMoty's FD2R	2'10.785
3	68	並木 重和	エネオスEDVコースCIVIC	2'11.078
4	38	カンノンホ	TKOREA制動SSRシビック	2'11.095
5	16	ヒロシノ	NUTECH制動SSR東野R	2'11.242
6	27	高橋 啓	MTEX制動SSRシビック	2'11.333
7	7	大西 隆生	オートバックスHG-HCIVIC	2'11.531
8	72	谷口 行博	サーキットED-EURO	2'11.548
9	5	RKVU	STAシビックタイプR	2'11.598
10	86	水越 貴一	NUTECHエントレCIVIC	2'12.188

天竺瀬川 / コースドライ / 出走:17台

Lap up Formula NIPPON!



2011 Formula NIPPON 総集編DVD絶賛発売中
初参戦の若きF1経験者・中嶋一貴が刺激になったか、実力がありながら「無冠の帝王」に甘んじていたアンドレ・ロッテラーがついに覚醒! 山本尚貴や塚越広大といった若手の台頭やロッテラーと前チャンピオンのオリベira、車夫天・小暮卓史との激闘など、名場面の連続だった2011年フォーミュラ・ニッポンをここに再現!! さらにJAF GPでのデッドヒート、スペシャルインタビューなども収録。
お求めは、J SPORTSオンラインショップ (http://shop.jsports.co.jp/)、その他取扱店で。定価3,990円(税込)



J SPORTS

J SPORTSは今年もFormula NIPPONを全戦放映。サーキットに登場できないファンに、レースの臨場感をお届けします。

- フォーミュラ・ニッポン2012 第2戦 決勝
決勝 5/13(日) 13:45~17:00 J SPORTS2(生放送)
決勝再放送 5/14(月) 11:00~13:30 J SPORTS3
5/14(月) 24:00~26:30 J SPORTS1
5/25(金) 15:00~17:30 J SPORTS3
 - フォーミュラ・ニッポン2012 ダイジェスト 第2戦 ツインリンクもてぎ
5/19(木) 7:45~7:55 J SPORTS1 (ほかリピート放送あり)
 - フォーミュラ・ニッポンのから騒ぎ
フォーミュラ・ニッポンの将来を担うサムライ達が集結し、フォーミュラ・ニッポンについて“ざっばらんに語る。出演:中嶋一貴/平手晃平/小暮卓史/塚越広大
5/17(木) 17:45~17:55 J SPORTS1
5/19(土) 7:45~7:55 J SPORTS1 (ほかリピート放送あり)
- 番組ホームページ: http://www.jsports.co.jp/motor/formula_nippon/



BSフジ

決勝日の翌週日曜日(再放送は翌々土曜日)にレースダイジェストを放映します。

- フォーミュラ・ニッポン2012 第2戦 ツインリンクもてぎ
5/18(金) 18:00~18:55[再放送:5/27(日) 18:00~18:55]
- 番組ホームページ: http://www.bs-fuji.tv/top/pub/formura2012.html



GyaO!

GyaO!(オンデマンド放送)
大会終了後14日後、24:00よりオンデマンド配信
http://www.yahoo.co.jp/

サマリー動画も配信! フォーミュラ・ニッポン 公式ウェブサイト

http://www.f-nippon.co.jp

最新ニュースは随時更新。レースのサマリー動画や、フォーミュラ・ニッポンのことをさらに深く理解できる特集記事など、レースウィークでなくても楽しめるコンテンツも満載です。

リニューアルオープン! フォーミュラ・ニッポン 公式モバイルサイト

http://motorsports.ch/fn/index.php

現地観戦には欠かせないライブタイミングを始めとした速報情報や、動画などの見たいコンテンツが満載! スマートフォン(全キャリア対応)からもアクセス可能です。

※Formula NIPPON公式モバイルサイトは、「モータースポーツチャンネル」内、無料特別サイトとして運用しています。
※docomo, au, SoftBank, スマートフォン共通
※パソコンからのアクセスはできません
※旧サイトの会員情報は新サイトへは引き継がれません。大変お手数ですが新サイトにて再度登録をお願い致します。

観戦ガイドに! お土産に! 公式プログラム絶賛発売中!

栃木ゆかりのドライバー塚越広大、山本尚貴、睦峨宏紀によるスペシャルトークセッションを掲載。レースばかりではないもてぎの楽しみ方を紹介してくれる。もちろん全参戦マシンドライバーの写真を掲載するチームガイドや、FNO9マシンの解説、もてぎ15年の歴史を彩ったフォーミュラ・ニッポンの名シーンなど、充実の内容。サイン帳代わりに、観戦の記念に、そしてお土産に最適な一冊! 定価1,000円。場内オフィシャルショップなどでお求めください。

2012 フォーミュラ・ニッポン年間スケジュール

Rd.	日程	開催サーキット	Rd.	日程	開催サーキット
Rd.1	4/14,15	鈴鹿サーキット	Rd.5	8/4,5	ツインリンクもてぎ
Rd.2	5/12,13	ツインリンクもてぎ	Rd.6	9/22,23	スポーツランドSUGO
Rd.3	5/26,27	オートポリス	Rd.7	11/3,4	鈴鹿サーキット
Rd.4	7/14,15	富士スピードウェイ	SPL	11/16~18	FUJII SPRINT CUP

2012 FCJ 第3戦レポート 第3戦決勝で平川が開幕3連勝を達成!



ファステストラップを連発して追いつけた高星だったが今一歩及ばず、平川が開幕3連勝を達成することとなった。

12日に行われたフォーミュラチャレンジ・ジャパン (FCJ) 第3戦、第4戦の公式予選は、No.12 高星明誠が従来のコースレコードを上回るタイムを記録して連続ポールを達成した。
しかし、続いて行われた第3戦の決勝では、高星がスタートに失敗、3番手スタートのNo.4 平川亮がトップに立つ展開に。

2012年フォーミュラチャレンジ・ジャパン第3戦 決勝結果

Po	No	Driver	Machine	Lap	Time
1	4	平川 亮	FTRSクラリアン広島トヨタFCJ	12	22:52.178
2	12	高星 明誠	NDOP DAISHIN FCJ	12	22:52.426
3	10	中嶋 一貴	HFDP/SRS-FARTACコナラR	12	22:56.318
4	8	清原 卓太	HFDP/SRS-FARTACコナラR	12	22:58.288
5	3	藤谷 大智	FTRS	12	23:00.666
6	7	小河 啓	宝車Racing with DUNLOP	12	23:03.024
7	5	周藤 康平	チームSPVFCJ	12	23:04.279
8	2	黒崎 駿	HFDP/SRS スカラップコナラR	12	23:05.290
9	13	藤波 清斗	NDOP FCJ	12	23:06.330
10	9	遊佐 貴也	FTRS SCHOLARSHIP FCJ	12	23:08.174
11	14	三浦 悠一	エネオスEDV/FTRSFCJ	12	23:08.590
12	11	坪井 雄	FTRS TMC FCJ	12	23:09.757
13	6	NAKAIJIMA RACING	FTRS PTT	12	23:14.803
14	17	陣川 雄大	東京モータースポーツカレッジ	12	23:15.191
15	16	三浦 悠	EXEDY	12	23:17.618

以上完走 (規定周回数 10/Laps)
1 川原 伸太郎 FTRSスカルアップFCJ 5 9:40.276



2012年アチーブメント全日本フォーミュラ3選手権 第3戦 決勝結果

Po	No	Driver	Machine	Time/Gap
1	1	山内 英輝	B-MAX/F312	25'11.301
2	4	平川 亮	広島トヨタF312	0.709
3	37	Richard Bradley	PETRONAS TOM'S F312	5.486
4	36	中山 雄一	PETRONAS TOM'S F312	5.995
5	8	野原 智紀	HFDP RACING F312	6.754
6	7	平塚一貴(引)	HFDP RACING F307	10.474
7	2	Rafael Suzuki	MAD CROC TODA F308	17.818
8	23	佐々木 大樹(N)	S Road NDOP F3	18.129
9	35	勝田 勇太郎(N)	TOP SPRINT F307	18.856
10	20	Gary Thompson(N)	KCMG	26.803

天竺瀬川 / コースドライ / 出走:13台 / 選手名の後ろ(N)はF3-Nクラスを示します

2012年フォーミュラチャレンジ・ジャパン 第4戦 予選結果

Po	No	Driver	Car	Time
1	12	高星 明誠	NDOP DAISHIN FCJ	1'52.974
2	3	藤谷 大智	FTRS	1'53.103
3	4	平川 亮	FTRSクラリアン広島トヨタFCJ	1'53.197
4	8	清原 卓太	HFDP/SRS-FARTACコナラR	1'53.428
5	10	松下 徳浩	HFDP/SRS-FARTACコナラR	1'53.446
6	1	川原 伸太郎	FTRSスカルアップFCJ	1'53.622
7	17	陣川 雄大	東京モータースポーツカレッジ	1'53.689
8	7	小河 啓	宝車Racing with DUNLOP	1'53.690
9	5	周藤 康平	チームSPVFCJ	1'53.696
10	13	藤波 清斗	NDOP FCJ	1'53.746

天竺瀬川 / コースドライ / 出走:16台

QUALIFYING NEWS FLASH Rd. 2

予選速報 2012 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第2戦 2012年5月13日(日) ツインリンクもてぎ www.f-nippon.co.jp



5月12日(土)、全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第2戦の公式予選が、ツインリンクもてぎ(栃木県)で行われ、No.1 アンドレ・ロッテラー (PETRONAS TEAM TOM'S) が、今季初のポールポジションを獲得した。

実力者が上位に名を連ねた公式予選

11時10分より公式予選(予選1回目)が20分間で行われた。このセッションの順位で続いて行われるスペシャルステージの出走順が決まる。ここでトップタイムを記録したのは、午前のフリー走行でもトップだった昨年の王者No.1 アンドレ・ロッテラー (PETRONAS TEAM TOM'S) で、タイムは1分33秒277。これに09年王者のNo.8 ロイク・デュバル (Team KYGNUS SUNOCO)、前戦勝者のNo.2 中嶋一貴 (PETRONAS TEAM TOM'S)、地元期待のNo.41 塚越広大 (DOCOMO TEAM DANDELION RACING)、10年王者のNo.19 ジョアオ・パオロ・デ・オリベira (TEAM IMPUL) が続く。6位にはFN参戦2年目のNo.39 国本雄資 (Project μcerumo・INGING) が入り、スペシャルステージでの活躍が期待された。

明暗が分かれたデュバルとロッテラー

約3時間のインターバルを経て、スペシャルステージが開始されたのは、午後2時25分。まずは4輪ともにスクラブ(一度走行して路面との慣らしをすること)したタイヤを装着したNo.62 睦峨宏紀 (TOCHIGI Le Beausset Motorsports) がコースイン。1周のウォームアップを終えると、2周目にはアタックということで、全力でタイヤを温める。そして、アタックするが、1分36秒318と、予選1



回目のタイムに届かなかった。続いて、同じく全輪スクラブタイヤのNo.18 折目達 (SGC) とNo.10 金石年弘 (HP REAL RACING)、全輪ニュータイヤのNo.3 安田裕信 (KONDO RACING) と続いて行った。
この戦いが一気に1分34秒前半に入ったのは、5番手としてフロントだけスクラブタイヤを装着したNo.20 松田次生 (TEAM IMPUL) が好タイムを叩き出したところから。続く全輪ニュータイヤのNo.32 小暮卓史 (NAKAJIMA RACING) は、松田とほぼ同タイムながら、わずかに及ばず。その次に出走した全輪スクラブのNo.16 山本尚貴 (TEAM 無限) は、松田を1000分の2秒上回ってきたが、フロントだけスクラブタイヤのNo.31 中嶋大祐 (NAKAJIMA RACING)、全輪ニュータイヤのNo.38 平手晃平 (Project μcerumo・INGING)、同じく全輪ニュータイヤのNo.7 大嶋和也 (Team LeMans) らは、山本と松田のタイムを破れなかった。
そこから争いのレベルは、さらに上がる。そのきっかけとなったのは、11番目に出走したNo.40 伊沢拓也 (DOCOMO TEAM

DANDELION RACING)。全輪ニュータイヤを装着した伊沢は、このタイムアタックで1分33秒816と、真っ先に33秒台に突入。これが、その後に行進する予定の6人のドライバーにとっては、ひとつのターゲットタイムになった。しかし、続いてコースに入った全輪スクラブタイヤの国本とデ・オリベira、フロントだけスクラブタイヤの塚越は、残念ながら伊沢のタイムを破ることができない。ようやく、伊沢のタイムをわずかに100分の4秒ほど上回ってきたのは、全輪スクラブタイヤを着けた中嶋一貴だった。これに続くデュバルは、全輪ニュータイヤでコースに入り、セクター2まではほぼ一貴と同タイム。しかし、V字コーナーのブレーキングでミス。走り終わった時点での順位は、5位という結果になってしまった。

いよいよ最後にコースインしたのは、全輪スクラブタイヤを選んだロッテラー。ロッテラーは、アタックに入ると前半セクターだけで一貴に対してコマ5秒もの差をつける。後半セッションでも、その差をキープしたまま周回。本人も「パーフェクトだったよ!!」という会心の走り、昨年の最終戦以来、約半年ぶり、今季初のポールポジションを獲得した。



QUALIFYING NEWS FLASH Plus

左のQRコードからアクセス! 予選速報電子版「QUALIFYING NEWS FLASH Plus」には紙面では伝えきれないコンテンツがいっぱい! 全ドライバーの写真、マシンの写真、動画や、普段は見ることのない公式通知など情報満載! 予選速報を読み終えたらQRコードからアクセス!! (無料)

※コンテンツ内容は予告なく変更されることがあります。ご了承ください。

Pole Position No.1 **アンドレ・ロッチャー** PETRONAS TEAM TOM'S

すべてがスムーズに進んだ。
決勝もいいレースができる。



今日はいい一日だったね。今回はスペシャルステージでのアタックが興味深かったよ。どんなタイヤを使うのが一番いいのか、スクラブする(表面を慣らす)のは全輪か、フロントだけか、新しいものでいくか…迷ったね。何かと忙しい一日だった。結局、タイヤはスクラブしたよ。マシンはベースが良かった分、そんなにセットを変えることもなかった。午前の公式予選(1回目)で手応えを感じていたけど、スペシャルステージのときは風が強く、タイヤの使い方も微妙な感じで、アタックするコンディションとしてはちょっと難しい状態だった。タイヤを上手く使えたらいいタイムが出るとは思っていたので、運よくそれができた。ポールポジションを獲れたのでうれしいよ。チームがいい仕事をしてくれたおかげだ。開幕戦は戦略を含め、うまくいかなかったけれど、(5位に終わった)鈴鹿に比べてマシンのポテンシャルが上がっているし、ミスもなかった。すべてがスムーズに進んだね。だから決勝もいいレースができると思っているよ。

実力伯仲!! シビアな戦いだったスペシャルステージ 本当の戦いは、この決勝レース! さらなる激戦が待ち受けるだろう

Round 2 MOTEGI Preview

午前のフリー走行でマシンの仕上がりをチェックせよ!
決勝レースはスタートが最大のカギになる!?

決勝レースは、52周という長丁場。しかも、天気予報では、昨日と違って汗ばむ陽気だという。それにより、各チームはマシンのセットアップも変更しなければならない。そのマシンの仕上がりを確認できるのは、朝9時15分からのフリー走行。ここで安定したラップタイムを刻んでいるマシンがいたら、レースでは強さを発揮するはずだ。また、フリー走行の直後に行われるスタート練習も見逃せないポイントのひとつ。この時の練習から、本番のスタートを占ってみるのは、観戦のひとつの楽しみとも言える。

そして決勝レースで、まずキーとなるのはスタートだ(写真は昨年の決勝スタート)。今回は、ポールポジションを獲得したのが、スタートダッシュに定評のあるNo.1 アンドレ・ロッチャー(PETRONAS TEAM TOM'S)だが、もし彼が今回もスタートを成功させれば、一気に逃げてしまう可能性はあるだろう。一方、その後方に目を転じてみれば、No.40 伊沢拓也(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)、No.19 J.P.デ・オリベイラ(Team IMPUL)、No.8 ロイック・デュバル(Team

KYGNUS SUNOCO)と、やはりスタートを得意とするドライバーがズラリ。開幕戦と同様、No.2 中嶋一貴(PETRONAS TEAM TOM'S)やNo.41 塚越広大(DOCOMO TEAM DANDELION)が好スタートを切れば、この集団でのポジション争いは熾烈となるだろう。その後、集団ができれば、気になるのはピットインのタイミング。早目に入るのが奏



Round 2 MOTEGI Topic

各マシンのサイドミラーにも注目!!
ミラーのオープンソース化でチームの個性が出る

毎戦、予選日(土曜)に開いている取材記者と日本レースプロモーションの白井裕社長との懇談会、サタデーミーティング。今回の話題は、まず2013年より使われる新たなシリーズタイトルに関して。すでにかなりの応募があるという。採用者(多数の場合は抽選)には、トヨタ86またはHonda CR-Zがプレゼントされる。5月13

日(第2戦決勝日)の消印有効だが、間に合う方はぜひ応募してほしい。そして、今季の車両規定の変更が紹介された。それはサイドミラーのオープンソース化だ。フォーミュラ・ニッポンはFN09のワンメイクだが、イコールコンディションが崩れない範囲で、欲しいチームが入手できるなど条件を満たすものなら認められることになった。白井社長は、このような



パーツが今後も出る可能性もあると語り、よりチームの個性が出るようになりそうだ。この他、予選速報に付いているQRコードで見られるモバ

イル版予選速報、YouTubeで公開されているダイジェスト映像など、マルチメディアの推進にも語られた。

Pick Up!



栃木県ゆかりの3選手の活躍に注目!!
塚越、山本、嵯峨が決勝での健闘を誓う

ツインリンクもてぎがある栃木県にゆかりがある選手が3人いる。まずは予選で5位となったNo.41 塚越広大は日光市出身。そして、出身の宇都宮で今も暮らすのが、No.16 山本尚貴(Team 無限)だ。「サーキットにいるみんなが自分の走りを見てくれていると思うと、ヤル気が増す」というスペシャルステージでは7位。「バランスがうまく合っていないかった」と、タイムが伸びなかった要因を振り返る。決

勝に向けては「地元だから、という意識は特にないけれど、地元の方がたくさん来てくれるし、その力も借りてしっかりとがんばりますよ」と力走宣言だ。予選15位のNo.62 嵯峨宏紀はチームのTOCHIGI Le Beausset Motorsportsの本拠地が茂木町なのだ。今季は「TOCHIGI」の名があるだけに、決勝での巻き返しを期しているはず。この3選手からも目を離さないでほしい。

2nd No.2 **中嶋一貴** PETRONAS TEAM TOM'S



アンドレが100%なら、僕は90%くらいだった。

走り始めからマシンは悪く、セットもあまり変更しませんでした。行き過ぎればタイムを落とし、行かないタイムも出ないという難しい綱渡りみたいでした。午前の予選でもセクタータイムはすごくよくて、(総体的に)タイムが出そうな感じでしたが、緊張してミスもあったし、まとめきれなかった。アンドレが力を100%キチンと出せたのに対し、僕は90%くらいだった感じがあります。でもフロントローにいますので、ポジティブな結果。スタートは重要だと思いますが、鈴鹿同様のいいレースをしたいですね。

3rd No.40 **伊沢拓也** DOCOMO TEAM DANDELION RACING



いい予選だったが、意外とうれしくない。

コンディションが微妙で、どういう状態に合わせて行こうか考えつつ、実際アタックに出ても、朝のユースドタイヤの走り出しが一番走りやすかったと思いました。決勝レースもこういうコンディションならば、乗りにくいし、ミスも結構出る状況かもしれませんね。僕自身はいい予選と思っているんですが、前回ポールポジションを獲ったあとの3位ともなると、意外とそんなにうれしくないんだと(笑)。ただ、前回の決勝レースは悪かったので、今回はしっかりと走れるよう、決勝に向けてもう少し煮詰めていきたいです。

4th No.19 **ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ** TEAM IMPUL



アタック自体に大きなミスはなかったけど…

午前のフリー走行で走り始めた時から変な感じだったよ。路面温度が低い状態ではそれほどなかったんだけど、温度が上がって来てからは、今までにないくらいオーバーステアで、それがスペシャルステージでも直らなかつたんだ。通常は全く気にならないことなんだけど、ブレーキを踏んだ途端にもうリアが流れかけるというか、常にリアを気にしながら走らなければならなかつたんだ。アタック自体に大きなミスはなかったと思うよ。でも、そういう状況から、なかなか納得の行くタイムを出せなかつたんだよね。

5th No.41 **塚越広大** DOCOMO TEAM DANDELION RACING



決勝は最後まで気合いを入れてがんばる。

スペシャルステージはうまくまとめることができませんでした。S字でも失敗しているし、他でもタイムが良くなかったのでも…もしまとめることができていたら2番には行けたかな。でもトップは見えなかつたです。朝のフリーから予選に向けて結構マシンのセットを変えていきましたが、スペシャルステージに向けては変えてないです。タイヤはフロントだけスクラブして、リアは新品。思うような出だしにはなりませんでした。決勝はこの前みたく良かった点が再現できれば追い上げも可能と思う。最後まで気合いを入れてがんばります。

6th No.8 **ロイック・デュバル** Team KYGNUS SUNOCO



予選はミスがすべて。決勝でがんばるよ。

(朝の公式予選同様)2位を狙うには、セクター2の終盤からセクター3の間でスピードがなかった。FNは上位がとて接戦なのでちょっとのミスで大きくポジションが変わってしまう。ミスが許されないのが現状だね。今の僕は、フロントタイヤを使いこなすことと、1年間このカテゴリーから離れていたことが小さなミスを誘発しているのかもね。ちょっとの調整がうまくいけばフリーのように、いい位置にいけたと思う。予選はミスがすべてだね。2番手が狙えただけに残念。でも鈴鹿から僕自身も進歩しているし、決勝でがんばるよ。

タイムスケジュール(決勝日)		POINT STANDINGS 第1戦終了時点	
Time	Event	Po. No. Driver	Point
8:15	FCJ Round4 決勝(18周)	1 2 中嶋一貴	10
9:15	Formula NIPPONフリー走行	2 41 塚越広大	8
9:45	Formula NIPPONスタート練習	3 19 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ	6
10:25	F3 Round4 決勝(20周)	4 7 大嶋和也	5
11:20	PIT WALK	5 1 アンドレ・ロッチャー	4
12:05		6 40 伊沢拓也	4
13:00	シビック 決勝(12周)	7 16 山本尚貴	2
14:30	Formula NIPPON Rd.2 決勝(52周)	8 20 松田次生	1

Formula NIPPON Starting Grid Race start: 14:30

1	アンドレ・ロッチャー PETRONAS TEAM TOM'S TOYOTA RV8K Q1:1'33.277 SS:1'33.264	2	中嶋一貴 PETRONAS TEAM TOM'S TOYOTA RV8K Q1:1'33.823 SS:1'33.779
3	伊沢拓也 DOCOMO TEAM DANDELION RACING Honda HR12E Q1:1'34.261 SS:1'33.816	4	19 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ TEAM IMPUL TOYOTA RV8K Q1:1'34.136 SS:1'33.909
5	41 塚越広大 DOCOMO TEAM DANDELION RACING Honda HR12E Q1:1'33.962 SS:1'33.967	6	8 ロイック・デュバル Team KYGNUS SUNOCO TOYOTA RV8K Q1:1'33.722 SS:1'34.046
7	16 山本尚貴 TEAM 無限 Honda HR12E Q1:1'34.379 SS:1'34.113	8	20 松田次生 TEAM IMPUL TOYOTA RV8K Q1:1'34.797 SS:1'34.115
9	7 大嶋和也 Team LeMans TOYOTA RV8K Q1:1'34.268 SS:1'34.121	10	32 小暮卓史 NAKAJIMA RACING Honda HR12E Q1:1'34.413 SS:1'34.157
11	38 平手晃平 Project //cerumo-INGING TOYOTA RV8K Q1:1'34.274 SS:1'34.791	12	31 中嶋大祐 NAKAJIMA RACING Honda HR12E Q1:1'34.839
13	39 国本雄資 Project //cerumo-INGING TOYOTA RV8K Q1:1'34.204 SS:1'34.917	14	3 安田裕信 KONDO RACING TOYOTA RV8K Q1:1'34.834 SS:1'35.072
15	62 嵯峨宏紀 TOCHIGI Le Beausset Motorsports TOYOTA RV8K Q1:1'36.217 SS:1'36.318	16	18 折目遼 SGC by KCMG TOYOTA RV8K Q1:1'36.151 SS:1'36.433
17	10 金石年弘 HP REAL RACING Honda HR12E Q1:1'35.327 SS:1'38.188		

予選日: 2012年5月12日(土) 出走17台
Q1:天候:晴れ / 路面:ドライ
SS:天候:晴れ / 路面:ドライ
予選通過基準タイム: 1'39.806 / 107%

※公式通知No.10に基づき、順位はスペシャルステージのタイム順に決定した。
※本グリッドは公式予選結果を元に予選速報編集チームが作成したもので、主催による公式発表ではありません。

Team Pit

1,2	* * *	19,20	* * *	40,41	7,8	31,32	38,39	* 16	* * *	10	* * 18	* 3	* 62	* * *																														
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45

◀ 1st Corner